

平成29年毒物劇物取扱者試験問題
法規(選択式問題)

- 1 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。()に当てはまる正しい字句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 1 から 5 の解答欄にマークしなさい。

第四条

- 1 略
- 2 毒物又は劇物の製造業又は輸入業の登録を受けようとする者は、製造業者にあつては(問題 1)、輸入業者にあつては(問題 2)ごとに、その(問題 1)又は(問題 2)の所在地の(問題 3)を経て、厚生労働大臣に申請書を出さなければならない。
- 3 略
- 4 製造業又は輸入業の登録は、(問題 4)ごとに、販売業の登録は、(問題 5)ごとに、更新を受けなければ、その効力を失う。

【下欄】

(問題 1)	1 工場	2 製造所	3 法人	4 本社
(問題 2)	1 営業所	2 店舗	3 事業所	4 法人
(問題 3)	1 市町村長	2 保健所長	3 都道府県知事	4 地方厚生局長
(問題 4)	1 3年	2 4年	3 5年	4 6年
(問題 5)	1 3年	2 4年	3 5年	4 6年

2 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。()に当てはまる正しい字句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 6 から 10の解答欄にマークしなさい。

第十五条 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を次に掲げる者に交付してはならない。

一 (問題 6)歳未満の者

二 略

三 麻薬、大麻、あへん又は覚せい剤の(問題 7)

2 毒物劇物営業者は、厚生労働省令の定めるところにより、その交付を受ける者の氏名及び(問題 8)を確認した後でなければ、第三条の四に規定する政令で定める物を交付してはならない。

3 毒物劇物営業者は、(問題 9)を備え、前項の確認をしたときは、厚生労働省令の定めるところにより、その確認に関する事項を記載しなければならない。

4 毒物劇物営業者は、前項の(問題 9)を、最終の記載をした日から(問題 10)、保存しなければならない。

【下欄】

(問題 6)	1	15	2	16	3	18	4	20
(問題 7)	1	中毒者	2	販売者	3	製造者	4	所持者
(問題 8)	1	年齢	2	職業	3	住所	4	生年月日
(問題 9)	1	台帳	2	帳簿	3	伝票	4	個票
(問題 10)	1	1年間	2	3年間	3	5年間	4	6年間

3 次の物質について、毒物(特定毒物を除く。)であるものは[1]を、劇物であるものは[2]を、特定毒物であるものは[3]を、いずれにも該当しないものは[4]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 11 から 15の解答欄にマークしなさい。ただし、記載してある物質は全て原体である。

(問題 11) アンモニア

(問題 12) 硫酸アンモニウム

(問題 13) カリウム

(問題 14) 氟^ふ化水素

(問題 15) モノフルオール酢酸

4 次の文章で正しいものには[1]を、誤っているものには[2]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 16 から 25 の解答欄にマークしなさい。

- (問題 16) 18 歳の者は毒物劇物取扱責任者となることができない。
- (問題 17) 薬剤師であっても、毒物又は劇物を取り扱う業務に 1 年以上従事した者でなければ毒物劇物取扱責任者になることができない。
- (問題 18) 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を直接に取扱わない場合は、店舗ごとに毒物劇物取扱責任者を置く必要はない。
- (問題 19) 本店の毒物劇物取扱責任者は、隣町の支店の毒物劇物責任者を兼ねることができる。
- (問題 20) 砒素化合物である毒物を使用してしろありの防除を行う事業者は、毒物劇物取扱責任者を置く必要はない。
- (問題 21) 毒物劇物営業者が個人経営から法人経営になる場合は、新たに登録を受けなければならない。
- (問題 22) 毒物劇物製造業者が、その製造した毒物又は劇物を、毒物劇物販売業者に販売する場合、毒物劇物販売業の登録を受ける必要がない。
- (問題 23) 毒物劇物営業者は、毒物については、その容器及び被包に「医薬用外」の文字及び黒地に白色をもって「毒物」の文字を表示しなければならない。
- (問題 24) 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を貯蔵する設備の重要な部分を変更したときは、15 日以内にその旨を届け出なければならない。
- (問題 25) 毒物劇物営業者は、その営業の登録が効力を失ったときには、30 日以内に、その店舗の所在地の都道府県知事に、現に所有する特定毒物の品名及び数量を届け出なければならない。

平成29年毒物劇物取扱者試験問題
法規(記述式問題)

1 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。正しい語句を法規・基礎化学試験用紙の記述問題番号1から10の解答欄に記入しなさい。

第一条 この法律は、毒物及び劇物について、(問題 1)上の見地から必要な取締を行うことを目的とする。

第二条 この法律で「毒物」とは、別表第一に掲げる物であつて、(問題 2)及び(問題 3)以外のものをいう。

第三条の三 興奮、(問題 4)又は麻酔の作用を有する毒物又は劇物(これらを含む。)であつて政令で定めるものは、(問題 5)に摂取し、若しくは吸入し、又はこれらの目的で所持してはならない。

第十四条 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を他の毒物劇物営業者に販売し、又は授与したときは、(問題 6)、次に掲げる事項を書面に記載しておかなければならない。

一 毒物又は劇物の名称及び(問題 7)

二 販売又は授与の(問題 8)

三 譲受人の氏名、(問題 9)及び(問題 10)(法人にあつては、その名称及び主たる事務所の所在地)

平成29年毒物劇物取扱者試験問題
基礎化学(選択式問題)

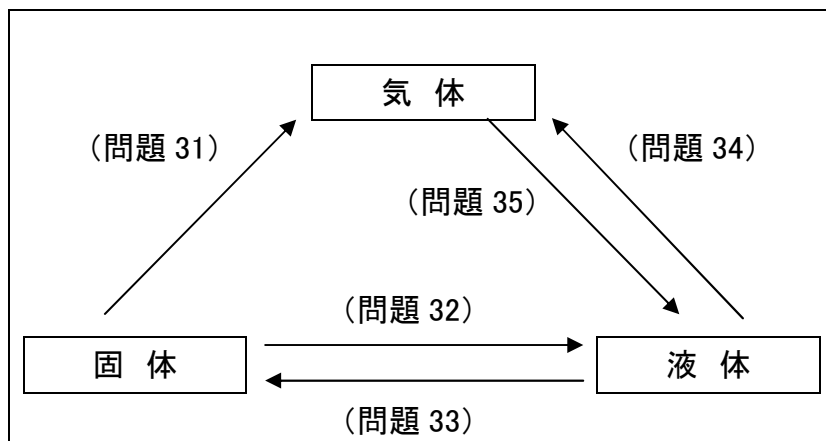
1 次の()内に当てはまる最も適当な語句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 26 から 30の解答欄にマークしなさい。

周期表の17族元素のF、(問題26)、Br、I、Atを(問題27)という。常温・常圧で、F₂は(問題28)、Br₂は(問題29)、I₂は(問題30)である。

【下欄】

(問題26)	1 O	2 Ne	3 Cl
(問題27)	1 アルカリ金属	2 アルカリ土類金属	3 ハロゲン
(問題28)	1 気体	2 液体	3 固体
(問題29)	1 気体	2 液体	3 固体
(問題30)	1 気体	2 液体	3 固体

2 次の「物質の三態」の図において、矢印の方向の状態変化を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 31 から 35の解答欄にマークしなさい。



【下欄】

1 蒸発	2 潮解	3 風解	4 凝集
5 凝固	6 融解	7 固化	8 昇華
9 風化	0 凝縮		

3 次の記述について、正しいものは[1]を、誤っているものは[2]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 36 から 45の解答欄にマークしなさい。

- (問題 36) 物質のうち、塩化ナトリウムのように2種類以上の物質が混じり合ったものを混合物という
- (問題 37) 酸素とオゾンのように、同じ元素からなる単体で、性質の異なる物質を同位体という。
- (問題 38) 原子核中の陽子の数は元素ごとに決まっており、陽子の数とその原子の原子番号となっている。
- (問題 39) 原子核内の陽子の数と電子の数の和を質量数という。
- (問題 40) ナトリウムは、アルカリ金属であり、炎色反応は黄色を呈し、カリウムよりイオン化傾向が大きい。
- (問題 41) カルシウムは、アルカリ土類金属であり、炎色反応は橙赤色を呈し、マグネシウムよりイオン化傾向が大きい。
- (問題 42) 水銀は、常温で液状のただ1つの金属であり、硝酸や塩酸に極めてよく溶ける。
- (問題 43) 溶媒が半透膜を通過して濃度の高い溶液の方に移動して、その濃度を下げる方向に働く現象を圧力としてあらわしたものを浸透圧という。
- (問題 44) 圧力が一定ならば、一定量の気体の体積は、絶対温度に反比例して変化する法則をシャルルの法則という。
- (問題 45) すべての気体は、同温・同圧・同体積中に同数の分子を含んでおり、これをアボガドロの法則という。

4 次の官能基の名称を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 46 から 50の解答欄にマークしなさい。

- (問題 46) $-\text{SO}_3\text{H}$ (問題 47) $-\text{CHO}$ (問題 48) $-\text{OH}$
(問題 49) $-\text{NH}_2$ (問題 50) $-\text{COOH}$

【下欄】

1	ケトン基	2	ヒドロキシ基	3	エチル基	4	フェニル基
5	アルデヒド基	6	シアノ基	7	カルボキシル基	8	ニトロ基
9	アミノ基	0	スルホ基				

平成29年毒物劇物取扱者試験問題
基礎化学(記述式問題)

1 次の問題について、()内にあてはまる数値を、法規・基礎化学試験用紙の記述問題番号 11 から 15 の解答欄に記入しなさい。ただし、原子量は、ナトリウムを 23、塩素を 35 とする。

- (1) 50w/v%硫酸水溶液(問題 11)mL と 30w/v%硫酸水溶液(問題 12)mL を混合すると、42w/v%硫酸水溶液 1,000mL になる。
- (2) ある物質は、水 200gに対して摂氏 25℃で 30gまで溶ける。この物質の摂氏 25℃における飽和水溶液の濃度は、(問題 13)%である。(小数第 1 位を四捨五入せよ。)
- (3) 塩化ナトリウム 15gに水を加えて 500mL の水溶液をつくった場合、この水溶液のモル濃度は(問題 14)mol/L である。(小数第2位まで記入せよ。)
- (4) 有効塩素 12%の次亜塩素酸ナトリウム溶液を 6000 倍に希釈した水溶液には、有効塩素が(問題 15)ppm 含まれる。